［　別紙１　］

２０１３年度　多摩川およびその流域の環境浄化に関する 調査・試験研究助成金交付要望申請書

公益財団法人　とうきゅう環境財団　御中

申請日：　　　年　　月　　日（西暦記入）

<table>
<tr><td colspan="3">種別（いずれかを○で囲んでください。 記入要領 3.を参照）
学術研究　　一般研究</td><td colspan="2">受付番号
－</td></tr>
<tr><td rowspan="6">申　請　者</td><td>（フリガナ）
氏　　名</td><td colspan="3">㊞</td></tr>
<tr><td rowspan="3">所属機関名
および所在地</td><td colspan="3">〒</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td colspan="2">FAX</td></tr>
<tr><td colspan="3">E－mail</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自宅住所</td><td colspan="3">〒</td></tr>
<tr><td>TEL</td><td colspan="2">FAX</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">E－mail</td></tr>
<tr><td>１.調査・試験研究の課題</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>２.調査・試験研究費総額</td><td colspan="2">円</td><td>３．助成金要望額</td><td>円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">４．申 請 者 経 歴
最終学歴
職　　歴</td><td>年 月</td><td colspan="3">内　　容</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>著　　書</td><td colspan="4">書籍名　　発行年月　　出版社</td></tr>
<tr><td>（代表的）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>論　　文</td><td colspan="4">課 題　　誌 名　　発行年月　　発行者</td></tr>
<tr><td>最近のもの
（三編以内）</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

５．調査・試験研究の目的

(1) 目　的

(2) 本調査・試験研究と従来行われたものとの関連

①現在までに、とうきゅう環境財団より助成を受けた調査・試験研究で、本人または他の調査・試験研究者の調査・試験研究成果との関連について

②当財団の助成研究ではなく、他の研究費によって行われた調査・試験研究で、本人または他の研究者の調査・試験研究成果との関連について

６．調査・試験研究の計画

(1)調査･試験研究の内容(具体的かつ詳細に記入)

①規　模

②方　法

③手　順

(2)調査･試験研究の場所

７．調査・試験研究の効果

８．調査・試験研究内容について１０以内のキーワード（申請者の任意）＜５０音順＞

（記入要領4. を参照）

９．調査・試験研究の公表および啓発の方法

１０．調査・試験研究の時期　（全期間）

開　始 :　　　　年　　月　　日　　～　　完了予定 :　　　　年　　月　　日

１１．調査・試験研究の組織

氏　名	研究分担課題	要 望 額	現職･専門

１２．調査・試験研究実施にあたっての収支予算

(1)収入の部　(全期間分を記入)　　(単位:円)

項　目	金　額	摘　要
1. 助成金要望額 2. 自己負担金 3. その他(文部科学省研究費等)		
合　計		

(2) 支出の部　　(全期間分を記入)(記入要領5.6.ならびに記入上の留意点を参照)　(単位:円)

項　目	経　費			算出基礎〔(例) 試薬@400 円×20 ヶ×5 種類＝40,000 円〕
	要望額	自己負担額	計	
1. 器具備品費計① 2. 調査・試験研究費計②				(器具備品とは、一式 100 千円以上のものを言います)
(1) 消耗品費 (2) 旅　費 (3) 謝　金 (4) その他				
合計(①+②)				

※各項目で本表に収まらない場合は別紙(6 ﾍﾟｰｼﾞ)に明細を記入して下さい)

（別紙）

全期間分明細書【 (1)消耗品費(2)旅費(3)謝金(4)その他 】　（単位:円）

種　　類	単　価	数　量	金　額
合　計（小計）			

※本表で収まらない場合はページを追加して下さい。

１３．助成金要望額受領希望予定

(1)受領希望予定表 （全年度分を記入）

（単位:円）

年度別		金　額	摘　　要
2013	上期		
	下期		
	計		
2014	上期		
	下期		
	計		
合　　計			

(2)受領方法 （次のうち、希望する方法に○を記入）

① 精算払
② 分割払(原則、9月と翌1月に年総額の1/2ずつ分割)
③ 前金払(上記、①②以外の場合) 必要とする理由を記入して下さい。

１４．添付書類

申請者が企業(民法の規定による公益法人も含む)に所属している場合。

(1) 定款、または寄付行為

(2) 業務概況

初年度支出明細（記入要領5. 6. ならびに記入上の留意点を参照）（単位:円）

<table>
<tr><th rowspan="2">項　　目</th><th colspan="3">経　費</th><th rowspan="2">算出基礎〔(例）試薬@400 円×20 ヶ×5 種類＝40,000 円〕</th></tr>
<tr><th>要望額</th><th>自己負担</th><th>計</th></tr>
<tr><td>1. 器具備品費計①

2. 調査・
試験研究費計②</td><td></td><td></td><td></td><td>(器具備品とは、一式 100 千円以上のものを言います)</td></tr>
<tr><td>(1) 消耗品費

(2) 旅　　費

(3) 謝　　金

(4) その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合　計（①+②）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

※各項目で本表に収まらない場合は別紙（9ページ）に明細を記入して下さい）

（別紙）

初年度分明細書【 (1)消耗品費(2)旅費(3)謝金(4)その他 】

（単位：円）

種　　類	単　価	数　量	金　額
合　　計（小計）			

※本表で収まらない場合はページを追加して下さい。

調査･試験研究助成金交付要望申請書記入要領

当財団の調査･試験研究助成金交付要望申請書記入に当っての必要情報が記載されています。
記入に当っては、以下の要領をよくお読みいただき、当財団の方針及び考え方をご理解いただいた上で、必要書類をご提出下さい。

1. 調査･試験研究助成金交付要望申請書(以下、本申請書)および添付資料(もし、あれば)は、採否にかかわらず、返却致しません。

2. 当財団は個人情報の重要性を認識し、その保護につとめています。本申請書にご記入頂いた個人の情報については、助成に伴う、(イ)募集要項等の送付 (ロ)選考手続、選考委員(会)への提供 (ハ)選考結果の連絡及び公表 (ニ)助成金贈呈式とその広報 (ホ)当財団の催事或は広報 (ヘ)助成調査･試験研究の成果集などの印刷物とその附帯資料への掲載等に限って使用することがあります。又、その使用に当っては、利用目的の達成に必要な範囲で行います。詳しくは、調査･試験研究者の個人情報の保護の方法に関する規程をご一読下さい。

3. 本申請書冒頭の｢種別｣については、大学や研究所等の専門性ある機関に所属している調査･試験研究者は、｢学術研究｣に○をして下さい。

4. 本申請書の項目｢8. 調査･試験研究内容について10以内のキーワード(申請者の任意)＜50音順＞｣をご記入いただく場合は、下記例を参考にして下さい。

—キーワードの記入例—

『 助成研究(学術研究 No. 1)

研究課題 ： 多摩川水域における有機物の存在とその起源に関する研究

－主として微量有害未確認有機物の同定について－

代表研究者 ： 半谷 高久』の場合

キーワード ： ①GCMS分析 ②水質の時間変化 ③水中脂肪酸
④水中多環芳香族炭化水素 ⑤水中炭化水素
⑥水中微量有機物分析 ⑦水中芳香族カルボン酸 ⑧多摩川水
⑨底泥微量有機物分析 ⑩分子量分画

5. 本申請書の項目｢12. 調査･試験研究実施にあたっての収支予算｣の｢(2)支出の部｣(5ページ)には全期間の経費を、また、8ページの｢初年度支出明細｣には初年度一年間の経費を、次ページの記入上の留意点の説明に従って、それぞれ詳細にご記入下さい。

6. 上記5. の｢(2)支出の部｣および｢初年度支出明細｣の記入に当っては、｢算出基礎｣欄には、全ての項目毎に、｢単価×数量｣(例 試薬@400 円×20 ヶ×5 種類＝40,000 円)の形式で、お書き下さい。記入欄が不足する場合は、別紙(6ページのものは、全期間分用。9ページのものは初年度分用)に明細をお書き下さい。

「(2)支出の部」ならびに「初年度支出明細」の記入上の留意点

項　目	内　容	内容説明
1. 器具備品費	直接研究に使用する器具備品で、一個または一式 100,000 円以上の固定資産。	
2. 調査・試験研究費		
(1)消耗品費	直接研究に使用する器具備品で、一個または一式 100,000 円未満の消耗品。	調査や試験研究に用いる各種材料、部品、薬品等。
(2)旅　費		対象地域
①研究実施交通費	代表研究者および共同研究者(以下「研究者」という)の使用する交通費。 ・ 鉄道、バス等 ・ タクシー、レンタカー借り上げ ・ 自家用者使用によるガソリン代 ・ 高速道路通行料	1. 多摩川およびその流域内の交通費。 2. 研究者所在地(自宅または所属機関)から多摩川およびその流域目的地までの往復交通費。 3. 多摩川およびその流域以外の河川、および研究所等出張のための交通費は財団の判断による。
②宿泊費	研究者、臨時傭役者。	
(3)謝　金		
①謝金A	研究者以外の専門知識者を必要とする場合の謝金。	A:研究チーム構成員になる必要はないが、調査・研究の目的を達成するため、指導助言、監修等を依頼する専門知識者への謝金。
②謝金B	研究者、または研究チームが一般の人の意見、反応等を必要とする場合の謝金。	B:例えばアンケート調査をするために必要な謝金。
③現地臨時傭役者	交通費込みの手当　1日1人当り。	現地とは、多摩川およびその流域を指す。
④室内臨時傭役者	交通費込みの手当　1日1人当り。	例えば資料整理の臨時傭役者
(4)その他の経費 上記以外の経費	機器・設備などの借料、通信費等。 大学関係間接費等。	飲食代は除く。

公益財団法人とうきゅう環境財団　　　**2013年度　助成調査・試験研究　アンケート**

※本アンケートは、応募の際に必ず申請書と一緒に返送してください。

アンケート回答者（お名前は必要ありません。）			
住所（都道府県名のみで結構です。）			
性別	男性　・　女性	年齢	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代

アンケート：各該当事項に○印をつけてください。（複数回答　可）

1. 本研究助成公募をどのようにしてお知りになりましたか？媒体名を教えてください。
   - a.　情報誌　（情報誌名：　　　　　　　　　　　　　　）
   - b.　ポスター　（掲示場所：　　　　　　　　　　　　　　）
   - c.　インターネット　（ホームページ名：　　　　　　　　　　　　　　）
   - d.　新　聞　（新聞名：　　　　　　　　　　　　　　）
   - e.　他団体より　（団体名：　　　　　　　　　　　　　　）
   - f.　その他　（　　　　　　　　　　　　　　）

2. 何故、当財団の研究助成公募を選ばれましたか？理由を教えてください。
   - a.　申請方法が簡単で申請しやすい。
   - b.　団体の身元がはっきりしていて安心。
   - c.　他から薦められたから。
   - d.　どこでも良かった。
   - e.　その他　（　　　　　　　　　　　　　　）

3. インターネット・ホームページによる情報発信について活用されていますか？
   - a.　団体の事務所又は個人で情報を見ることが可能で活用している。
   - b.　行政等の他の施設にて情報を見ることが可能で活用している。
   - c.　情報を見ることは可能だがあまり活用していない。
   - d.　情報を見ることができないので活用していない。
   - e.　その他　（　　　　　　　　　　　　　　）

4. 当財団の研究助成公募についてご意見をお聞かせください。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）